

有限会社シュシュ

長崎県大村市

需要獲得

サービス

地域と連携した食育体験により需要獲得 食品ロスを防いで農家の所得向上に貢献

1997年創業。福重地域は夏場のみ梨狩り、ブドウ狩り観光農園に取り組んでいたが、一年を通じて観光客が訪れるよう農業交流拠点施設を建設。農産物を加工して直売所・レストランで提供する6次産業に取り組んだ。質の良い多品種の食材を手軽に入手できることが特徴となり、年間49万人が訪れる食のテーマパークに成長。農泊・食育体験や各種イベントを通じて、地域資源と農業を結びつけたビジネスを実現している。稼げる農業への取組は2019年に農山漁村(むら)の宝に認定され、首相官邸で直接認定を受けた。

所在地 長崎県大村市弥勒寺町486番地
電話/FAX 0957-55-5288 / 0957-55-5323
URL <http://chouchou.co.jp/index.html>
代表者 代表取締役 山口 成美

設立 1997年
資本金 1,500万円
従業員数 70人



農泊を通じてインバウンド需要を獲得、輸出事業にも挑戦

「食育事業」を企業理念とし、地域農家と連携して農泊を実施。国内だけでなく、海外にも食の素晴らしさを伝えたいという思いから「インバウンド農泊」と称して外国人の受入れ体制を整えた。食育体験を中心とした事業は人気となり、年間3,000人ものインバウンド需要を獲得している。新型コロナウイルスの影響があるなか、自ら海外へ売り出していきたいという思いからいち早く輸出事業を行う方針を固めた。農産物の加工技術を活かした食品を輸出し、農家への還元を目指している。



食育体験ができるインバウンド農泊

地域と連携した商品開発やイベントにより活性化に貢献

同社は長崎県内の地域活性化を目的に、数年前からイベントの開催にも力を入れる。大村市と連携した商品開発や物産展などに積極的に参画。少子化、晩婚化による地元衰退の危惧から実施した婚活イベントでは、約10年で35組のカップルが誕生した。また、定年を迎えた高齢者を中心に、帰農の推進と人生をより楽しむための農業塾を開講。市と連携して独立就農に向けた支援を行うなど、6次産業化を超えた取組で地域の活性化に貢献している。



心と体の健康と充実を手に入れる農業塾

規格外品を加工した付加価値により農家の所得向上を実現

同社は平均30戸の農家から年間約100tの加工用野菜・果実を受入れている。通常、取扱量の多さは廃棄量の増加につながるが、同社では農産物のロスをなくし農家の所得につなげたいとの思いから規格外品の加工にも力を入れ、ドレッシングやジュースなどとして商品化している。また、販売情報管理システムを導入して、売上情報を生産者へ配信。品薄の商品を収穫して品切れを防ぎ、生産性向上に繋げている。食品ロスを防ぐことで農家の意欲が増し、農産物の付加価値向上によって農家の所得増加に貢献している。



規格外の農産物を加工したジュース

需要獲得

サービス